

1. 指定管理者名	社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会
2. 指定期間	平成 24年 4月 1日 ~ 平成 28年 3月 31日
3. 業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関すること。 2 児童館の維持管理に関すること。 3 目的外使用許可にかかる事務に関すること。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関すること。 5 事業評価に関すること。

4. 採点表		評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、 105%未満～95%:4点、 95%未満～85%:3点、 85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値			開館時間中(10:00～18:00)、自由来館となっている。				
			②利用人数	5	平均値比(注) 105%以上:5点、 105%未満～95%:4点、 95%未満～85%:3点、 85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%未満～95% 4点				※平成25年度から移動児童館の人数の数え方を統一したため、平成24年度の人数の単純比較はできません。 ※来館者数と事業参加者は異なる数え方をしています。 幼児と大人の来館人数は減ったものの、小学生、中学生の来館が両方で前年比約130%となり、全体的に見れば平均値比98%となった。しかしながら、幼児親子は25年度2月3月は24年度の同時期を上回り、回復傾向である。 【25年度】来館者数17, 245人 乳幼児3, 762人、小学生8, 257人 中高生1, 246人、大人3, 980人 【24年度】来館者数17, 400人 乳幼児4, 539人、小学生6, 545人 中高生722人、大人5, 544人	8点	
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点、 仕様書に忠実:11～9点、 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、 それ以下:2～0点	・乳幼児対象事業(計131回開催、延べ3200名参加) ・小学生対象事業(計118回開催、延べ1200名参加) ・多世代間交流事業(計16回開催、延べ390名参加) ・一般対象対象事業(計71回開催、延べ450名参加) ・子どもボランティア事業(計44回開催、延べ209名参加) ・中高生対象事業(計16回開催、延べ140名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計29回開催、延べ89名参加) ※別紙:事業報告書 参照	仕様書に忠実 11点	・仕様書の事業をすべて目標回数以上行い、適正に実施した。 ・地域とのより密接なつながりを目標とし、公民館のお祭り参加や、母親クラブと地域の方の交流会などの新規事業も行った。 ・年間を通して利用者のニーズに対応したもの、また時期や地域に配慮し必要と思われる事業を適所で行うことができた。	11点				
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点、 例年よりやや劣る:8～7点、 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	・地域の特性を活かした事業(計35回開催、延べ1900名参加) ・母子センター共催事業(1年で3回開催) ・共同募金・赤い羽根配分事業 ・いっしょに元氣広場(障がい児遊びの広場) ・厚生保護女性会活動 ※別紙:事業報告書 参照	期待以上 12点	・社会福祉協議会の特性を活かした自主事業を行った。 ・センターの周辺の環境を考慮したものや地域の特性を活かした事業を企画・取り入れ、適正に行った。	12点				
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況 (10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、 不備あり2点	定期清掃・日常清掃	適正(普通) 2点	仕様書に定める回数、実施されている。	10点				
			②保守・点検			電気工作物運動遊具の保守点検は委託により実施 館庭整備の一部委託実施	適正(普通) 2点	法定点検、日常点検ともに、適正に実施されている。					
			③保安・警備			非常通報装置消防用設備の保安点検は委託により実施 夜間館内警備については委託により実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。					
			④小規模修繕			①遊戯室破損ガラス修繕(8月)21,000円 ②事務室破損ガラス修繕(3月)30,000円 ③幼児室破損ガラス修繕(3月)30,000円 ①、②、③については、10万円未満であったため、仕様書の定めにより指定管理の負担で修繕を行った。	適正(普通) 2点	修繕箇所が発生した際は、遅滞なく対応がなされている。					
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			日常業務の中で危険箇所を把握し、速やかに対応している。 幼児室窓ガラスにほんの小さいヒビがありガムテープで補修していた所を、安全性の高で強化ガラスに交換した。	適正(普通) 2点	日常の業務の中で、危険箇所を把握し、適正に対応されている。					
		(2)その他管理業務の実施状況 (15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点、 適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	文書目録に基づいて管理している。	適正(普通) 2点	必要な文書目録を作成、提出している。	11点				
			②環境への配慮			・紙はリサイクル用、裏紙も使用している ・市役所・他の児童館等への連絡はメールで対応をし、紙の利用を控えている ・飲食を伴う行事の時は、箸やお碗を持ち込みしてもらうなど、廃棄物の抑制に配慮している ・冷暖房・電灯をこまめに切る。 ・冷房の設定温度は28℃としている ・プールの水で水打ちをし、暑さ対策をしている	期待以上 3点	環境への配慮を多く行っていることは評価できる。					
			③バリアフリー			館内は段差のないバリアフリー状態である。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。					
			④備品管理			・破損、不具合があったもので、購入可能なものは随時補充した。 ・備品台帳にそって管理している。	適正(普通) 2点	適正に管理されている。					
			⑤個人情報保護			社会福祉協議会として「個人情報保護管理規程」を作成 適正に管理している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。					

評価項目			細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする 事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、 事故等の対応に不備あり:△1点	事故なし	事故なし・対応に不備なし 0点	事故が起きた際は、社会福祉協議会内での事故報告はその都度行われ、今後の事故防止に繋げる体制をとっている。	0点
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	10、795、215÷7、608、127＝142%	105%以上 5点	指定管理委託料の範囲内で適正に事業が行われている。 職員配置により正規職員が減少したため、人件費を大幅削減。	5点
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、 適正(普通):7～5点、 不備あり:4～1点	アンケートボックスを設置して随時意見を受け付けるとともに、行事、乳幼児クラブ終了の際は、その都度アンケートを実施している。	期待以上 8点	・乳幼児クラブでは、アンケート結果を、次期のクラブに取り込むことで対応している(外遊びなど) ・小学生の要望から「旭ヶ丘チャンピオン」を新事業として取り入れた	8点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	特になし	苦情なし・適正(普通) 4点	社会福祉協議会として、苦情申出窓口を設置し、苦情対応責任者、苦情受付担当者、第3者委員を設置している。	4点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・民生児童委員協議会、まちづくり市民会議に出席し、施設の周知等を行い、利用促進に努めた。 ・北陵中学校執行部、まちづくり市民会議に協力して、施設周辺の清掃活動を行った。 ・同指定管理児童館で共催事業を行い、校区外の親子の交流を図った。 ・社会福祉協議会の特性を生かし、障がい者、老人センターとの交流事業を行った。 ・学校、まちづくり市民会議、区などの地域組織と適宜、連携・協力がなされている。 ・図書室の扉を開放や、什物の配置等を換えし、来館者と関わり居やすい環境作りに努めた。	期待以上 13点	・平日の自由来館者の多い館であるが、25年度に館内の什物の配置換えなどをきっかけに、児童に対してのルールを徹底し、また小中学校とも連携を密にとることで、児童が館内で落ち着いて過ごせるようになった。 ・積極的に地域と関わり、児童館の役割を周知する姿が見られ、24年に比べ小学生、中高生の自由来館者数の増加が見られた。	13点
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、 一部遅れ・不備あり(中程度):△2、 一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、 対応等が期待以下(軽微):△1、 対応等が期待以下(中程度):△2、 対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている。	0点	
合計				100	【4段階評価】 極めて良好100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討44点以下			全体的な評価 ・概ね良好な管理がされている。 ・参加者の満足度、地域との連携など概ね良好である。 ・24年度に、中高生事業が実施回数不足のため、「若干不備あり」との評価となったが、25年度は様々な取組により、来館者数、事業参加者数を増加させた点は評価できる。	良好
								合計82点	